



# Tanabe East Rotary Club in 2016-17

2016-17年度RI会長: ジョン F ジャーム  
第2640地区ガバナー: 福井 隆一郎

田辺東ロータリークラブ

創立: 昭和49年5月15日

会長: 山本 亘

幹事: 谷本 司

会報: 岡本 博



例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp

例会: 毎週水曜日 12:30~

ビジターフィー ¥2,000

## ○会長報告 会長 山本 亘

代理 後藤信博



■本日は会長が欠席のため、副会長の後藤が代理を務めます。

■本日のお客様は坂口耳鼻咽喉科医院 院長 坂口 幸作様をお招きしています。後ほど、お話を宜しくお願い致します。

## ○幹事報告 幹事 谷本 司



### ■回覧

◎週報「田辺RC」「田辺はまゆうRC」「那智勝浦RC」

◎田辺市暴力追放協議会より

「田辺市暴力追放決起集会について(お礼)」

◎2016-2017年度 福井ガバナー事務所より

「IAC海外研修オリエンテーションのご案内」

「参加申込み用紙」

「地区大会記念ゴルフ大会ご参加の御礼」

「地区大会ご参加の御礼状」

「『Gabe氏 歓迎会』のご案内」

◎2016-2017年度 岡本ガバナーエレクト事務所より

「2017-2018年度の行事日程のお知らせ」

「2017-2018年度のための地区委員派遣のお願い」

「地区委員推薦書」

◎国際ロータリー第3ゾーンRRFC村上有司様より

「パレスチナ・ガザ地区の現状報告 ~金子由佳様」

JVCパレスチナ事業現地代表

(ロータリー世界平和フェロー8期生)

2016年4月2日 7クラブ合同公開例会講演者」

### ■連絡

◎ロータリーの友11月号が届いています。

各自トレーに入れてあります。

◎福井ガバナー事務所より地区大会 2日目、国谷裕子様による記念講演のパフレットが届いています。地区大会に参加できなかった方のトレーに入れてあります。ぜひ、ご参照ください。

### ■例会日時変更

◎田辺RC

11月3日(木・祝日)→ 休会

11月17日(木)→ 休会 <会場の都合>

◎白浜RC

11月4日(金)→ 休会

11月25日(金)→ 休会

◎田辺はまゆうRC

11月29日(火)→ 休会

◎那智勝浦RC

11月10日(木)→ 11月10日(木)12:30~

場所: グリーンピア南紀 紫陽花園

11月17日(木)→ 11月17日(木)12:30~

場所: ホテルなぎさや <コーヒー例会>

12月1日(木)→ 11月26日(土)18:30~

場所: ホテルなぎさや

<3クラブ合同米山奨学生との交流例会>

◎和歌山東RC

11月17日(木)→ 11月18日(金)16:30~

場所: ザ・ブライツガーデン (松本市)

## ○ゲスト・ビジター

坂口耳鼻咽喉科医院  
院長 坂口 幸作様



## ○本日の唱歌

「紅葉」 唱歌委員 湯川 和洋君

作詞: 高野 辰之 作曲: 岡野 貞一

## ○出席報告

会員数 50名 義務免除 2名 本日の欠席者 14名

本日出席率 70.83% 10月19日の修正出席率 89.58%

〇にここに報告 (敬称略)

◇坂口先生をお迎えて

愛須勝章・本田耕二・片井貢・木村壽一  
畔田実・丸山博之・中川文恵・坂本正人  
杉若雅宣・武田静也・早稲田清司・吉本正美

◇坂口先生より卓話御礼をニコニコに頂きました。

◇業務多忙です。

橋本隆



◇丸山さんと目が合いました。  
恐かったです。

畑地誠



◇本田さん、昨日はありがとうございました。

湯川和洋



◇早退お詫びします。

森本修至



吉田和枝



◇本人誕生日

佐田一三



◇江戸の昔から、40歳を過ぎると10年毎に長寿を祝ったと云います。因みに、40：不惑、50：天命知命、60：耳順とか、そして、近代化した現在でも60歳、あるいは61歳の還暦を祝う風習は未だに残っているようです。その当時から、還暦となるに及び町家も武士も年長者は隠居をする。そして若い人に道を譲る。という習慣があったようです。

当クラブでも還暦を過ぎた人が数人います。不肖上原も、還暦を遠に過ぎ、喜寿、傘寿、米寿、白寿とまではゆかなくても、すでに緑寿をすぎ古希という齢に近づきましたが、なお現役です。また、クラブ年齢も齢(よわい)二十歳になりました。さらに馬齢を重ねますが、今後共よろしく願い申し上げます。

上原@昂翁



◇奥様誕生日

竹村英一



渡口眞二



◇妻の誕生日は11月16日、そして翌17日は娘の誕生日です。2時間ほど早く生れておれば誕生日が同じでした。

伊藤博之



◇この年になると、嫁の誕生日なんか、どうでもいいです。

岩崎泰人



◇結婚記念日

岡本 博



谷本 司



◇寄り添うて52年、  
これから頼るは妻ばかり。

浦地 章



◇11月16日で結婚40年になります。  
おかげさまでありがたいです。

谷中順次郎



◇特に、  
別に、  
何も、  
おまへん  
後藤 信博



◇いつもご苦労様です。  
あと10年よろしく。  
玉置 和男



◇お花いただきます。

野村憲司



## 「命や寿命を考える」

坂口耳鼻咽喉科医院  
院長  
坂口 幸作



平成28年7月26日、相模原でとんでもない事件が発生しました。

障害者施設で、元職員の28歳の容疑者が、障害者の生きる価値を否定するような暴言のもと、19人の入所者を殺害しました。当然全国から非難の嵐です。

しかし、「この容疑者と同じ考えの者など他にはいない、この人だけの問題だ。障害の有無にかかわらず、誰もが堂々と生きられる社会だ。」と胸を張って断言できるのか？

私事ですが、私達夫婦には長く子供ができませんでした。東京でいましたので、有名な不妊外来を受診し、最終的には体外受精（試験管ベビー）まで試みましたが成功しませんでした。ほとんどあきらめの心境で田辺（紀南病院）に着任しました。ところが、特別なことは何もしなかったのに、結婚13年目に長女が、18年目に長男に恵まれました。

2人目の長男の妊娠の時は、私が44歳、女房が42歳でした。40歳を超える高齢出産では、ダウン症を初めとする遺伝子異常の障害児が生まれる確率が高くなります。私達も遺伝子検査を受けるかを悩みましたが、せっかく授かった子供だと思い、結局検査は受けませんでした。

平成25年4月から新型出生前診断が始まりました。母体からの採血だけで、胎児の遺伝子異常がわかります。いままでの羊水検査や絨毛検査の流産の危険もありません。将来はわずかな遺伝子異常まで詳しく分かるようになると思います。平成27年4月に発表された実績によると、1万2782名が診断を受け、異常が確定したのが176名。その結果、妊娠中絶167名、妊娠続行はわずか4名ということです。98%のご夫婦が妊娠中絶を選択しています。障害を持って生まれるだろう胎児の98%が、この世に生まれてこない選択をされています。罪にはなりません、何か割り切れない気持ちになります。

もう一度最初の問題提起です。「相模原事件は、あの容疑者だけの特異な考えなのか。障害の有無にかかわらず、誰もが堂々と生きられる社会なのか。」

私は検査を受けなかっただけ。検査を受けて、遺伝子異常を指摘され、それでも妊娠を継続したか、自信はありません。

障害を持つ子が生まれても、両親がそれほど苦労しなくても育てられる環境が整備され、本人も堂々と生きられる社会であってほしいものです。

巨人の国や小人の国への冒険物語、ガリバー旅行記（1726年、スウィフト作）は、誰もが子供のころに読んだことがあると思います。

ガリバーは、いろいろな国に旅行しています。天空の国、馬が支配する国、江戸時代の日本にも来ています。不死人間が生まれるラグナグ王国もその1つです。

ガリバーは最初、どんなに素晴らしことかと喜びます。永遠の命が約束され、死の恐怖から逃れられます。国にとっても、歴史、伝統、文化、美徳、知恵などをいつでもそばにいる大先輩が授けてくれ、この上なくありがたいことだと思われま

す。ところが、大きな誤解をしていたことに気が付きます。不死ではありますが、不老ではなかったのです。老化は同じように進むが、死なない、死ねない。容姿は変わり、見えない、聞こえない、話せない、知り合いはいない、家族は何世代も後で家族ともいえない。希望は早く死にたい、だけども死ねない。スウィフトの痛烈な皮肉です。同じような話は他にも多くあります。吸血鬼ドラキュラ、フランケンシュタイン、ファウストなど。

一方、寿命はどんどん延びています。日本は、男性80.79歳で世界4位、女性87.05歳で世界2位です。いつの時代も永遠の命は誰もの希望です。

公衆衛生の改善、予防や治療医学の進歩、移植医療、山中教授のiPS細胞、遺伝子治療、生殖医療の驚く進歩など、医学や科学の進歩で、永遠の命は無理でも、元気なハンドレッドエイジャーは当たり前のように思っています。精子や卵子の凍結永久保存は可能です。いつでも必要な時に使えばいい、命の元のDNAは永久保存可能ですから、ある意味、永遠の命は既に得られているのかもしれない。

現実にもどり、今、私たちのすべき大切なことは、バランスのとれた食事、適度な運動、頭を使う（見る、読む、聞く、書く、話すなど）こと。薬やサプリはあてにしない。努力せず、安易に健康は手に入らない。

この例会のように、仲間が集まり、楽しく食べ、よく聞き、話し、できれば、社会のお役に立てる事業に参加する。こんなことが、若さを保てる秘訣かと思えます。

私が毎日続けている3つのことがあります。花粉飛散の観測、新聞の切り貼り、早朝の散歩1万歩。

共に元気なハンドレッドエイジャーで、またお会いしましょう。